

社会福祉法人 豊橋市福祉事業会事業会

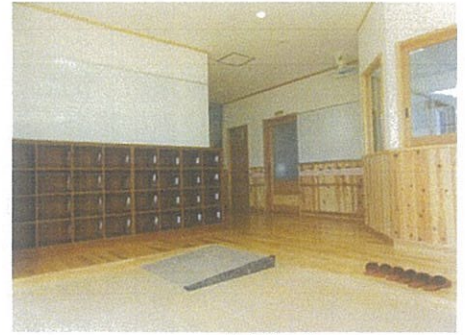
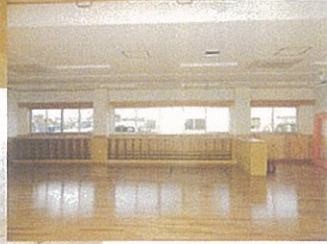
豊橋くすのき学園様 竣工式を執り行いました。

平成 30 年 3 月 29 日(木)

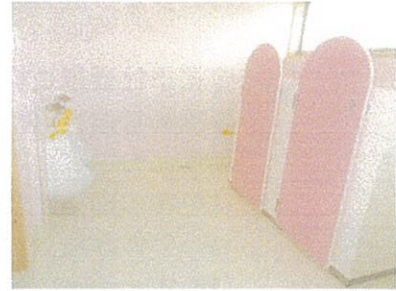




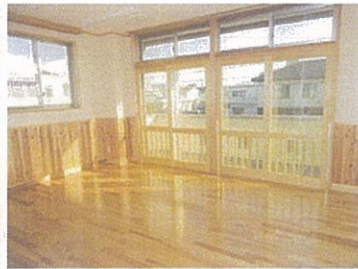
プレイルーム(保育室1)



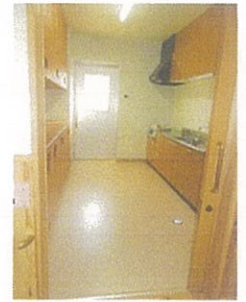
玄関・ホール



園児トイレ



保育室2・3



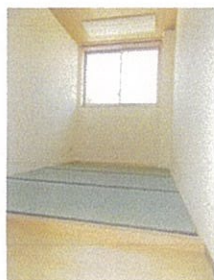
給湯室



言語療法室



静養室



地域交流室

障害児支援や理解促進へ

豊橋くすのき学園の竣工式 7日に入園式、30人で療育開始



完成した豊橋くすのき学園の施設建物
—豊橋市高師町で

豊橋市高師町北原の社会福祉法人「豊橋市福祉事業会」(高須博久理事長)が進めてきた児童発達支援事業所「豊橋くすのき学園」(後藤正教園長)の建替工事が終了。29日、関係者約40人が出席し、現地で竣工(しゅんこう)式が開かれた。

豊橋くすのき学園は1974年に開設。発達の遅れが気になる子どもたちの特性を踏まえ、個々の発達に応じた専門の療育サービスを提供する母子通園施設。今回、建物の老朽化やニーズの増加によって施設が手狭になったことから建替を計

画。昨年9月に着工、3月15日に完工した。竣工式では高須理事長が「今後も地域の障害児支援や理解促進に少しでも貢献できれば、職員一同鋭意努力していくので、ますますのお力添えを」などとあいさつ。高須理事長から設計監理の

柳伸建築設計事務所、施工のオーテックにそれぞれ感謝状を贈呈した。
佐原光一市長ら来賓祝辞に続き、オーテックから竣工記念品として壁掛け時計2点が寄贈され、同社の彦坂彰一代表取締役から高須理事長に目録が渡された。最後に利用園児がかわいらしい遊戯を出席者に披露した。

施設は鉄骨造2階建てで、延べ床面積504・90平方メートル。夏涼しく冬温かい、木をふんだんに使った建物で、地域交流室には電動式舞台、プレイルームにはターザン遊びなどができる吊り遊具用キャリアやボールプールも備えた。定員を25人から30人に増員し、単独通園支援枠を5人分設けた。4月7日に入園式が行われ、30人での療育をスタートさせる。

(田中博子)